

イトーキ、アサヒ飲料の「CO₂ を食べる自販機」で回収した CO₂ 吸収材を活用したスツールを製作

-リニューアルした「三ツ矢サイダーミュージアム」に設置、
Econifa UPCYCLE で資源循環を体感できる空間づくりに貢献-

株式会社イトーキ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：湊 宏司）は、アサヒ飲料株式会社が展開する「CO₂ を食べる自販機」で回収した CO₂ 吸収材を原料の一部に活用した 3D プリント製スツールを製作しました。本スツールは、2026 年 8 月 1 日にリニューアルオープンするアサヒ飲料明石工場内の「三ツ矢サイダーミュージアム」に設置されます。

本取り組みは、企業や地域の未利用資源を家具や空間価値へ転換するイトーキのサステナブルデザインソリューション「Econifa UPCYCLE」の一環です。アサヒ飲料が取り組む「CO₂ を資源として循環させる」という想いを、来場者が実際に座り、触れることができるスツールとして形にすることで、環境への取り組みをより身近に感じられる体験へとつなげます。イトーキは、素材開発からデザイン、3D プリントによる製作までを通じて、「三ツ矢サイダーミュージアム」のブランド世界観に調和しながら、企業の取り組みや想いを空間体験として伝える場づくりに貢献します。

イトーキサステナブルデザインソリューション「Econifa」について：

[Econifa 素材のストーリーが、場を変えていく | ITOKI](#)

「CO₂ を食べる自販機」について：[CO₂ を食べる自販機](#) | [アサヒ飲料](#)



■開発背景

アサヒ飲料は、大気中の CO₂ を吸収する「CO₂ を食べる自販機」を展開しています。同社は、自動販売機で吸収した CO₂ を資源として循環させることで、循環型かつ脱炭素社会の実現に貢献することを目指しています。

今回、その取り組みを来場者に分かりやすく伝える方法の一つとして検討されたのが、アサヒ飲料明石工場内の「三ツ矢サイダーミュージアム」に設置するスツールです。同館にも「CO₂ を食べる自販機」が設置されており、自販機で回収した CO₂ 吸収材を廃棄するのではなく、来場者が実際に座り、触れることができる家具として再利用することで、資源循環の取り組みをより身近に感じられる形にしました。

イトーキは、2025 年に展示会で株式会社コバヤシを通じて同素材の紹介を受け、サステナブル素材としての活用可能性を検討してきました。その後、チェア部材での試作などを通じて、家具への活用に向けた検証を進めてきました。

今回のスツール製作では、CO₂ 吸収材を含む樹脂材料を 3D プリンタで成形するため、イトーキの中央研究所、プロダクトデザイン部、チェア開発、生産技術部などが連携。素材の扱いやすさ、形状、使い勝手、強度などを確認しながら、ミュージアム空間で実際に使用できる家具として仕上げました。

■CO₂吸収材を活用した 3D プリント製スツールについて

本スツールは、「CO₂ を食べる自販機」で回収した CO₂ 吸収材を原料の一部に活用した樹脂材料を用い、3D プリンタで製作したものです。開発にあたっては、CO₂ 吸収材を含む新たな材料を安定して造形するため、イトーキ中央研究所が材料の配合や 3D プリント条件を検討。株式会社コバヤシがその内容をもとに材料を製作し、イトーキ滋賀工場の生産技術部が 3D プリンタによる製作を担いました。形状面では、限られたスペースでも扱いやすいよう、重ねて保管できるスタッキング仕様を採用。座面部分には持ち手を設けるなど、来場者を迎える施設での運用にも配慮しています。

また、デザイン面では、「三ツ矢サイダーミュージアム」の空間に自然になじむことを重視しました。アサヒ飲料のブランド世界観や、リニューアル後のミュージアムが持つ明るく親しみやすい雰囲気と調和するよう、形状やカラーを検討しています。



■各社の役割

今回の取り組みでは、アサヒ飲料、コバヤシ、イトーキの3社がそれぞれの知見を持ち寄り、CO₂吸収材を活用したスツールの実現に取り組みました。

会社名	各社の役割
アサヒ飲料株式会社	「CO ₂ を食べる自販機」の展開、CO ₂ 吸収材の活用方法の提案、 「三ツ矢サイダーミュージアム」への導入
株式会社コバヤシ	CO ₂ 吸収材を含む樹脂材料の製作・供給
株式会社イトーキ	素材配合の検討、デザイン、3Dプリント条件の調整、品質確認、 スツール製作、空間への実装

■プロジェクトメンバーのコメント



株式会社イトーキ 生産本部 素材研究室 澤田浩一

今回の取り組みでは、CO₂吸収材を含む樹脂材料を3Dプリント製家具として実装するため、素材の配合検討から造形条件の調整、デザイン、品質確認まで、社内外の多くの関係者が連携しました。

Econifa UPCYCLEは、未利用資源を単に再利用するだけでなく、企業や地域の想いを空間価値へと変換する取り組みです。来場者の方々が実際に座り、触れるスツールを通じて、資源循環をより身近に感じていただければと考えています。



アサヒ飲料株式会社 CSV 戦略部 松本 圭司

当社では、「CO₂を食べる自販機」で回収したCO₂吸収材の活用促進に取り組んでいますが、今回、コバヤシ様、イトーキ様との連携により、三ツ矢サイダーミュージアムの新しい試飲ホールに、実際に使用するスツールへ活用・設置することができました。来場者の皆様が座る、飲む、会話する、という自然な行為の中に、CO₂吸収材を家具として形にし、さらにミュージアムの空間に調和するデザインとして実装いただいたことで、弊社の「CO₂を資源として循環させる」想いをより身近に感じていただけるものと期待しています。

このスツールが、「三ツ矢サイダー」のブランド体験と共に、未来に向けたサステナブルな取り組みに触れていただくきっかけとなれば幸いです。

■今後の展望について：ー 資源循環を、身近に触れられる体験へ ー

イトーキでは、未利用資源を単に再利用するだけでなく、企業の取り組みや想いを、家具や空間を通じて伝えることを大切にしています。今回のスツールも、「三ツ矢サイダーミュージアム」を訪れる方々が座る・触れるという体験を通じて、資源循環を自然に感じられる場づくりを目指したものです。

今後もイトーキは、企業や地域で生まれる未利用資源の可能性に着目し、素材開発・デザイン・空間提案を融合させることで、サステナビリティを“体験できる”家具や空間づくりを推進していきます。

イトーキは「人も地球も生き活きと調和する、やすらぎの空間」の実現に向けて、循環型社会に貢献する新たな価値創造に挑戦してまいります。

■「Econifa UPCYCLE」について



「Econifa UPCYCLE」は、製造過程で出る副産物や未利用資源を再生・活用し、オフィスの内装や家具として新たな価値を与えるソリューションです。

企業活動の中で発生する副産物や未利用資源は、その企業ならではのものづくりや事業活動の背景が宿っています。Econifa UPCYCLE では、そうした素材を空間の一部として可視化することで、社員が自社の強みや文化を日常的に感じられる環境を創出。働く人の誇りや愛着、企業への共感醸成につながります。また、イトーキが持つ空間提案ノウハウや独自技術を活かし、これまで活用が難しかった未利用資源をボードなどの空間素材へと再構築することで、企業ごとのストーリーを持った空間づくりを実現しています。

来訪者とのコミュニケーションや企業ブランドの発信にも寄与し、採用・定着・エンゲージメント向上につながる新たな空間価値を提案します。

詳しくはこちら：[Econifa 素材のストーリーが、場を変えていく | ITOKI](#)

■三ツ矢サイダーミュージアムについて

名称	三ツ矢サイダーミュージアム
住所	兵庫県明石市二見町南二見 1-33
見学予約方法	ホームページから予約 ※6名以上の団体は電話で予約
電話番号	078-941-2309
URL	https://www.asahiinryo.co.jp/entertainment/factory/index.html
休館日	年末年始、指定休日（ホームページ掲載）
入場料	無料
営業時間	9：30～16：50（ショップ閉店時間：16：40） ※ツアー開始時間（①10時～ ②13時～ ③15時～）
所要時間	約 80 分
試飲アイテム	三ツ矢サイダーなどのアサヒ飲料製品

■関連リリース

- ・2026年6月「EconifaUPCYCLE」を提供開始
https://www.itoki.jp/company/news/2026/0602_econifaupcycle/
- ・イトーキ×キューピー株式会社 | 卵殻を活用したエントランス空間
https://www.itoki.jp/company/news/2025/1121_kewpie/
- ・イトーキ×トヨタ自動車株式会社 | 水素タンク端材を活用したアップサイクル素材
https://www.itoki.jp/company/news/2025/2505_toyotaupcycle/
- ・イトーキ×ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 | 使用済み容器から再生した糸を活用したチェアカバー開発
https://www.itoki.jp/company/news/2024/2405_umile/

【イトーキのワークプレイス事業について】

株式会社イトーキは1890年創業。ミッションステートメントに『明日の「働く」を、デザインする。』を掲げ、オフィス家具の製造販売、オフィス空間デザイン、働き方コンサルティング、オフィスデータ分析サービスのほか、在宅ワークや家庭学習用家具、公共施設や物流施設向け機器など、“AI×Design based on PEOPLE”を強みに、さまざまな「空間」「環境」「場」づくりをサポートしています。

ハイブリッドワークが普及し働く場所や働き方の多様化が進むなか、生産性や創造性を高める空間DX、最適なオフィス運用を伴走型で支援するコンサルティングサービスなども展開。外部デザイナーやパートナー企業との協業も積極的に行い、これからの新しいワークスタイルとワークプレイスを提案しています。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社イトーキ コーポレートコミュニケーション本部 広報課 齊藤
TEL：03-6910-3910 MAIL：itk-pr@itoki.jp

【本件に関するIRのお問い合わせ先】

株式会社イトーキ コーポレートコミュニケーション本部 IR・SR部 木場
TEL：03-6910-3910 MAIL：itk-ir@itoki.jp

以上